

第2回 助産実践能力向上研修【令和3年12月11日(土)開催】

於：山口県看護研修会館



「妊娠から授乳期における栄養」10:00～12:00

講師：元山口大学医学部附属病院 副栄養治療部長
現山口県栄養士会理事 有富 早苗 氏

厚生労働省の「妊婦のための食生活指針」が令和3年3月に15年ぶりに改訂されました。今回はその変更点や妊娠中の体重増加の指導目安・食事摂取基準など、たくさんの資料をもとにお話いただきました。妊娠糖尿病や妊娠高血圧症、妊娠貧血の妊婦に対する食事管理・食事指導に関して学びを深めることができました。

食品表示では、砂糖不使用・糖類ゼロと明記されている食品の落とし穴や注意点など、具体例を用いて説明していただきました。食品サンプルを試飲・試食して、自分たちの味覚を使って塩分の違いや加減について比較体験をしました。

妊娠中の食事指導のポイントとして、胎児を通し次世代につながる栄養の大切さを理解してもらうことや栄養相談・指導を行う際は、一方的にならないように相手の心に寄り添うことが重要であると話されていました。妊娠期だけでなく、女性の一生を視野に入れた栄養に関するお話もあり、多くの学びを得ることができました。受講生からは、来年もぜひ聴講したいと研修の継続を望む声もありました。



「新生児蘇生」13:00～15:00

講師：山口県立総合医療センター
新生児科部長 木村 献 医師



NCPRのポイント、新生児仮死や出生後の児におけるピットフォールについて、具体的な事例を交えてお話をいただきました。

2020年版NCPRに関しては、救命の流れに重点を置いたアルゴリズムの変更点について説明をしていただきました。

また、早産児の蘇生や新生児仮死への対応、出生直後の児の観察・アセスメント・対応方法について国家試験の問題や事例を用いて具体的にお話いただきました。参加者からは「NCPRの変更点について理解を深めることができた」「新生児の異常に早期に気づくことの重要性を認識した」「明日から実践に活かしていきたい」などの声が聞かれ、実践に則した内容で、学びを深めることができました。

次回の助産実践能力向上研修 令和4年2月26日(土)

午前 助産師出向事業研修会「産後のメンタルヘルスケア」
午後 「グリーンケア」



山口県看護協会 助産師職能委員会